

令和8年度(2026年度)多文化共生推進事業に関する予算案について

1 市全体の考え方

令和8年度は「八王子未来デザイン2040」の実現に向け、市民の安全と安心につながる取組みを基礎としながら、①市内経済の成長、②日本遺産都市としての賑わいの創造、③人財の確保・定着・育成の3つを柱に取り組んだ。

歳入では、賃金の上昇や納税者の増加により市税収入は増えているが、物価上昇の伸びには追いついていない状況である。

今後は、人口減少や少子高齢化により、市税を中心とした収入の減少が見込まれる一方、社会保障費や施設の老朽化対策、人件費や工事費の上昇など、支出は増える見通しであるため、歳入と歳出のギャップは今後も続くと考えられる。

2 多文化共生担当の予算

現在、外国人人口は12月末日時点で18,712人、市内の全人口の(558,755人)3.3%を超える割合となり、今後も「少子高齢化による労働力不足」、「在留資格の受入れ拡大」などを背景に、外国人は増加することが見込まれる。

こうした在住外国人の増加を見据え、だれもが安心して暮らし、活躍できる多文化共生社会を実現するために、以下の事業を実施する。

(1) 外国人へのコミュニケーション・生活支援

- ・ 多言語・やさしい日本語対応、在住外国人サポートデスクの継続
- ・ 多文化キッズサロン事業実施
- ・ 多言語による情報発信:Ginkgo 電子版(英語版・中国語版)

(2) 外国人留学生支援事業

- ・ 助っ人留学生活動の充実

(3) 啓発事業

- ・ 生涯学習フェスティバル内で国際交流コーナーの催し(多文化共生の集い)を実施
- ・ 多文化共生に関する映画上映会の実施

(4) 海外友好交流都市との交流

- ・ 八王子まつりにおける受入
- ・ 高雄ランタンフェスティバルへの派遣
- ・ 始興市ホームステイ事業における受入